

子どもの本や、子どもの読書活動に関する県内外の情報をお届けします！

山梨県子ども読書支援センター（県立図書館内） TEL 055-255-1040 <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

## ★県外ニュース 国際子ども図書館リニューアル

改修工事等のため、一部サービスを休止していた国際子ども図書館に新館アーチ棟ができ、新しいサービスが順次始まりました。

### 児童書専門図書館としての機能を集約した

#### 「アーチ棟」を新築！

平成27年6月に、新館「アーチ棟」が完成しました。

児童書専門図書館としての機能を持つ「アーチ棟」には、これまで二つに分かれていた資料室を統合した「児童書研究資料室」がオープンしました。ここでは、最近受入れた日本の児童書、外国で刊行された絵本のほか、児童書や児童文学を研究するための資料を約4万冊開架しています。また、最新版の日本の教科書や、読書活動推進支援に関する資料などのコーナーがあります。



アーチ棟

### 大人も子どもも共に楽しめる場として

#### 「レンガ棟」(既存棟) も一新！

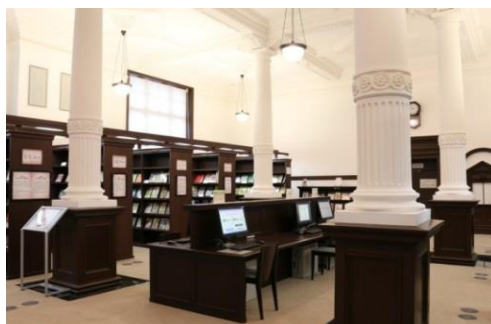
既存のレンガ棟では、従来の「子どものへや」「世界を知るへや」をリニューアルしたほか、「児童書ギャラリー」と「調べものの部屋」が新設されました。

##### ・児童書ギャラリー（2階）

明治以降の日本の児童文学、絵本の歴史をたどる資料が約1千冊展示されており、展示資料を手にとって読むこともできます。

##### ・調べものの部屋（2階）

中学生・高校生の調査やレポート作成に役立つノンフィクションを中心とした多様なテーマの資料が、約1万冊用意されています。



児童書ギャラリー（レンガ棟）

## 新しいサービスのポイントを、国際子ども図書館の職員の方に聞きました

### ① 読書活動推進支援コーナーを新設

アーチ棟2階「児童書研究資料室」に、あらたに「読書活動推進支援コーナー」が出来ました。

このコーナーは、子どもと本をつなげる活動を行っている人たちに積極的に活用してもらうことを目的としており、読書活動推進に関する資料を集め紹介しています。従来の児童書研究関連資料と併せ利用できます。

### ② 「調べもの体験プログラム」スタート

校外学習や修学旅行の中高校生向けに、「調べもの体験プログラム」が平成28年4月からスタートします。

インターネットで簡単に検索できる時代だからこそ、「図書館で調べものをする」を様々な形で提供するプログラムです。このプログラムでは、「調べものの部屋」の資料約1万冊を使った調べもの体験ができます。事前予約制で、クラス単位での実施となっています。

### ③ 赤ちゃん連れにもやさしい施設

赤ちゃんのおむつ替えや、授乳できるスペースが拡大されました。

レンガ棟1階に「休憩・飲食・授乳スペース」が出来ました。授乳室や調乳室以外にも、小さな子どもと一緒に靴を脱いで一休みできるスペースがあり、小さな子ども連れの家族でも安心して利用することができるよう配慮されています。

国際子ども図書館では、毎週火曜日と木曜日の午後2時から、館内のガイドツアーが行われています。新しくなった国際子ども図書館を訪れてみませんか？



◆◆アクセス◆◆  
国立国会図書館国際子ども図書館

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-49

電話 03-3827-2053

URL <http://www.kodomo.go.jp/>

## ●○ 活動紹介 ○● 保護者への読書啓発活動について 甲斐市立図書館

甲斐市では、教育振興基本計画として、平成22年度から平成31年度にかかる『創甲斐教育推進大綱』が策定されました。この取り組みのひとつとして、甲斐市立図書館では、幼稚園・保育園や家庭での読書活動を援助するため、移動図書館での出張貸出や園でのおはなし会を開催するだけでなく、保護者への読書啓発活動を行っています。今回は、その取り組みについて紹介します。

### ●○ 活動の内容は？ ○●

市内の幼稚園・保育園に通う年少児の保護者に対し、保護者参観などに合わせて、市立図書館の司書が30分程度の講演を行っています。平成27年には、市内24園中10園で実施しました。



読書啓発活動では、次のポイントを伝えています。

- ①乳幼児が本に親しむには、大人の助けが不可欠  
自分では読めない。本の楽しさを味わうためには、できるだけ、10歳までは読んであげてほしい。
  - ②常に手が届くところに本のある環境づくり  
保護者に図書館の利用も勧める。
  - ③良い本を選んでほしい  
例えば、「ももたろう」の本を3種類ほど持っていき、どれが良い本とされているのかを比較する。
  - ④子どもの年齢に合った本の紹介
  - ⑤幼児期の読み聞かせは子どもだけでなく親にとっても貴重な時間  
毎日の生活の中に、読み聞かせを通じて10分間でも、子どもとのふれあいの時間を持ってほしい。
- ◆図書館に来てください。図書館員が相談にのります。

さらに、「1日1回読書タイム」の推進も行っています。

### 1日1回読書タイムとは？

家庭での読書環境をつくるため、保護者が率先して、子どもと一緒に本に親しむことを目的に「1日1回読書タイム」を提唱しています。



### ●○ 参加者人数は？ ○●

幼稚園・保育園の保護者参観等に合わせて行い、15~200名とまちまちです。

また、できるだけ年少児の親を対象にして、在園中に必ず1回はおはなしを聞いてもらえるようお願いしています。園によっては全園児の保護者を対象に行うところも多く、スクリーンを使ったり、パネルで説明したりと、対象人数に合わせて説明の方法を変えています。

### ●○ 参加者の反応は？ ○●

反応としては、読み聞かせをすること自体が良いことなのは、保護者の皆さんもよく知っていますので、そこを重視するとなかなか興味が湧かないようでした。こちらでも試行錯誤しながら進めていますが、例えば「ももたろう」の話で色々な絵本を比較すると、本を選ぶ際の着眼点が分かりやすいようで、帰りに借りていってくれます。

また、啓発活動と併せて移動図書館もしているので、帰りに親子で本を選ぶときに親の本選びの目線が変わりましたとも話していただきます。



### ◆◆ アクセス ◆◆

甲斐市立電王図書館 〒400-0115 甲斐市篠原2610-12 電話 055-278-0811

敷島図書館 〒400-0123 甲斐市島上条1020 電話 055-277-9955

双葉図書館 〒400-0105 甲斐市下今井230 電話 0551-20-3669

URL <http://www.city.kai.yamanashi.jp/bunya/library/>